



平成24年2月10日

各位

株式会社T&Dホールディングス
 (コード番号 8795 東証・大証第一部)
 太陽生命保険株式会社
 大同生命保険株式会社
 T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

平成24年3月期第3四半期決算のお知らせ

T&D保険グループ（T&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命）の平成24年3月期第3四半期（平成23年4月1日～平成23年12月31日）の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績（生命保険会社3社合算：個人保険・個人年金保険）

- 新契約高は、5兆1,564億円、前年同期から2.3%の減少。
- 解約失効高は、3兆2,689億円、前年同期から6.1%の減少。
- 保有契約高は、5兆8,536億円、前年度末から0.9%の増加。

損益関係（T&Dホールディングス連結）

- 経常収益は、1兆5,782億円、前年同期から2.8%の増加。
 うち保険料等収入は、1兆2,533億円、前年同期から15.9%の増加。
- 経常利益は、890億円、前年同期から1.9%の減少。
- 四半期純利益は、121億円、前年同期から61.3%の減少。

通期業績予想（T&Dホールディングス連結）

- 平成24年1月30日に、平成23年5月19日公表の平成24年3月期通期業績予想を修正しております。（詳しくは7ページをご覧ください。）

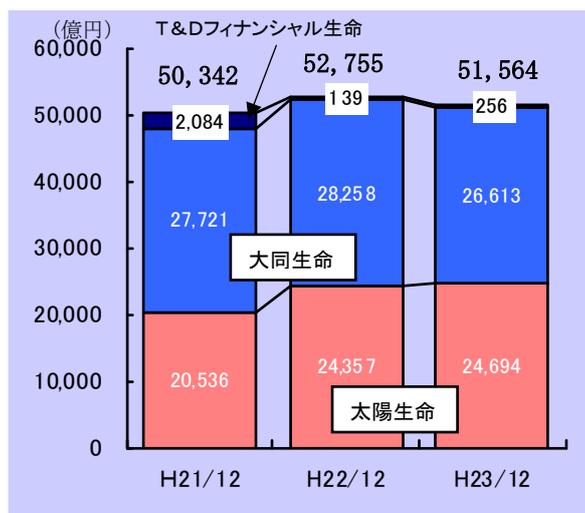
以上

【お問合せ先】

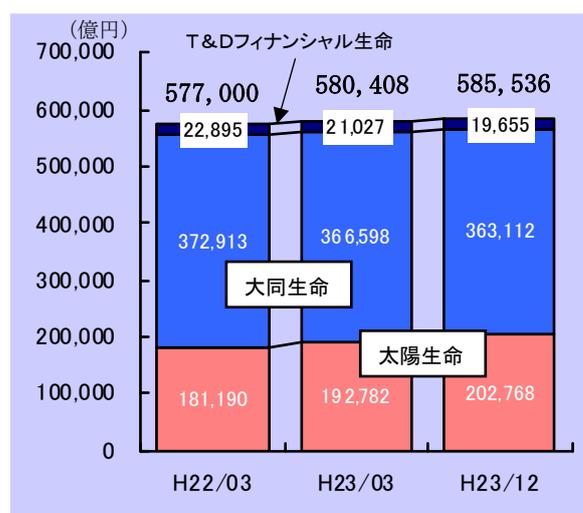
株式会社T&Dホールディングス	広報部	松尾	TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社	広報課	家徳	TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社	広報課	前田	TEL 03-3434-9190
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	進藤	TEL 03-3434-8840

[契約業績（個人保険・個人年金保険）]

○新契約高の推移（3社単純合算）



○保有契約高の推移（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年同期比	当第3四半期末	前年同期比	当第3四半期末	前年同期比	当第3四半期末	前年同期比
新契約高	51,564	1,190 減 (2.3%減)	24,694	337 増 (1.4%増)	26,613	1,645 減 (5.8%減)	256	117 増 (84.4%増)
解約失効高 (解約失効率)	32,689	2,113 減 (6.1%減)	9,073	593 増 (7.0%増) (0.03ポイント上昇)	23,007	2,543 減 (10.0%減) (0.57ポイント低下)	608	162 減 (21.1%減) (0.48ポイント低下)
新契約年換算保険料	981	162 増 (19.8%増)	477	161 増 (51.0%増)	487	6 減 (1.3%減)	17	7 増 (82.0%増)
うち医療保障・ 生前給付保障等	107	22 増 (26.4%増)	53	4 減 (7.6%減)	53	26 増 (100.4%増)	0	0 増 (-)

(注) 1. 新契約高には転換による純増加高を含んでおります。
2. 解約失効率は、年換算しておりません。

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末 比較増減	当第3四半期末	前年度末 比較増減	当第3四半期末	前年度末 比較増減	当第3四半期末	前年度末 比較増減
保有契約高	585,536	5,128 増 (0.9%増)	202,768	9,986 増 (5.2%増)	363,112	3,486 減 (1.0%減)	19,655	1,372 減 (6.5%減)
保有契約年換算保険料	13,991	17 増 (0.1%増)	6,032	77 増 (1.3%増)	6,235	19 減 (0.3%減)	1,723	40 減 (2.3%減)
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,617	8 減 (0.5%減)	1,059	23 減 (2.2%減)	515	17 増 (3.5%増)	42	3 減 (6.9%減)

■ 3社単純合算

- ・新契約高は、5兆1,564億円、前年同期から2.3%の減少。これは、大同生命で減少したため。
- ・解約失効高は、3兆2,689億円、前年同期から6.1%の減少。これは主に、大同生命で減少したため。
- ・保有契約高は、5兆8,536億円、前年度末から0.9%の増加。これは、太陽生命で増加したため。

■ 各社の状況

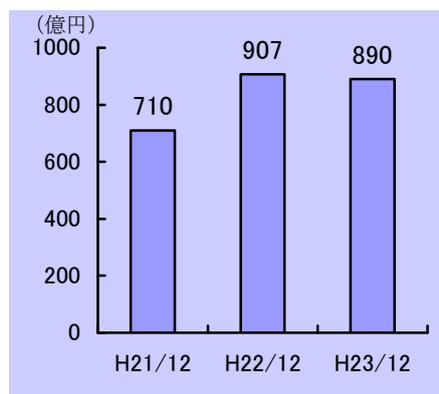
- ・太陽生命の新契約高は、2兆4,694億円、前年同期から1.4%の増加。これは主に、主力の「保険組曲Best」の主契約の1つである「生活応援保険」の販売が好調であったことに加え、個人年金保険の販売が好調であったため。
- ・大同生命の新契約高は、2兆6,613億円、前年同期から5.8%の減少。なお、主力商品の一つである「無配当重大疾病保障保険（Jタイプ）」の重大疾病保険金額を加算した金額でみた場合、新契約高は、2兆8,814億円、前年同期から0.1%の増加。保有契約高は、3兆6,187億円、前年度末から0.4%の減少。
※「Jタイプ」には普通死亡の保障がないため、新契約高・保有契約高には計上していません。
- ・T&Dフィナンシャル生命の新契約高は、256億円、前年同期から84.4%の増加。

[損益関係]

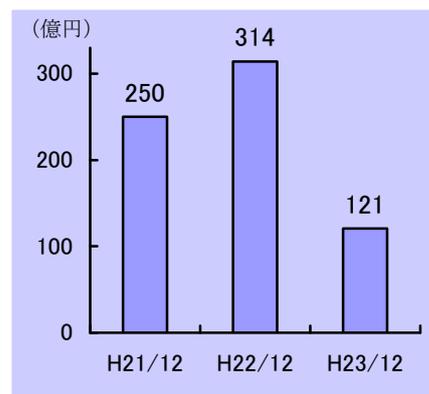
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○四半期純利益（連結）



(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比
経常収益	15,782	430 増 (2.8%増)	8,407	1,508 増 (21.9%増)	7,343	92 減 (1.2%減)	1,066	172 増 (19.4%増)
うち保険料等収入	12,533	1,720 増 (15.9%増)	6,785	1,608 増 (31.1%増)	5,373	10 増 (0.2%増)	367	100 増 (37.5%増)
うち資産運用収益	2,589	241 増 (10.3%増)	1,491	196 増 (15.1%増)	988	34 減 (3.4%減)	169	50 増 (42.6%増)
うちその他経常収益	659	1,532 減 (69.9%減)	129	295 減 (69.6%減)	980	68 減 (6.5%減)	529	22 増 (4.4%増)
経常費用	14,892	447 増 (3.1%増)	7,905	1,418 増 (21.9%増)	6,884	35 減 (0.5%減)	1,148	211 増 (22.6%増)
うち保険金等支払金	11,520	59 減 (0.5%減)	5,314	34 増 (0.6%増)	5,481	165 減 (2.9%減)	722	70 増 (10.8%増)
うち資産運用費用	1,271	437 増 (52.4%増)	451	148 増 (49.2%増)	512	118 増 (29.9%増)	355	144 増 (68.6%増)
経常利益（△損失）	890	17 減 (1.9%減)	501	89 増 (21.7%増)	458	56 減 (11.0%減)	△82	38 減 (87.9%増)
特別利益	3	6 減 (67.9%減)	—	1 減 (100.0%減)	2	1 増 (258.5%増)	—	0 減 (100.0%減)
特別損失	138	67 減 (32.7%減)	110	7 増 (7.8%増)	22	70 減 (75.5%減)	4	3 増 (1,020.5%増)
契約者配当準備金繰入額 （△戻入額）	220	11 増 (5.3%増)	119	10 増 (9.4%増)	101	0 増 (0.8%増)	△0	0 減 (100.3%増)
税引前四半期純利益 （△損失）	534	32 増 (6.4%増)	271	69 増 (34.7%増)	337	14 増 (4.6%増)	△86	42 減 (95.6%増)
法人税等合計	411	224 増 (120.6%増)	182	129 増 (248.9%増)	231	96 増 (71.3%増)	△10	1 増 (10.9%減)
四半期純利益（△損失）	121	192 減 (61.3%減)	89	60 減 (40.3%減)	105	81 減 (43.6%減)	△75	43 減 (135.7%増)

(参考)

資産運用関係収支 （一般勘定）	1,685	45 減 (2.7%減)	1,040	45 増 (4.5%増)	489	153 減 (23.9%減)	167	59 増 (54.7%増)
法人税率引き下げに伴う 四半期純利益（損失） の影響額	△224	—	△95	—	△110	—	△16	—

- (注) 1. T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
 2. 保険料等収入の3社単純合算は1兆2,527億円（前年同期比15.9%増）です。
 3. 資産運用関係収支（一般勘定）は、一般勘定に関する資産運用収益から一般勘定に関する資産運用費用を差し引いたものです。

■ T & Dホールディングス連結

- ・ **経常収益**は、1兆5,782億円、前年同期から430億円の増加。
- ・ **経常利益**は、890億円、前年同期から17億円の減少。
これは主に、基礎利益は増加したものの、資産運用費用のうち有価証券売却損や有価証券評価損などのキャピタル費用が増加したため。
- ・ **四半期純利益**は、121億円、前年同期から192億円の減少。
これは主に、法人税率引下げに伴い、繰延税金資産の取り崩しが発生したため。
四半期純利益への影響額は224億円。

■ 太陽生命の状況

- ・ **経常収益**は、8,407億円、前年同期から21.9%の増加。
- ・ **保険料等収入**は、6,785億円、前年同期から31.1%の増加。
これは主に、個人保険・個人年金保険の収入保険料が増加したため。
- ・ **経常利益**は、501億円、前年同期から21.7%の増加。
これは主に、資産運用収益が増加したこと、および東日本大震災に係る支払見積額が減少したため。
- ・ **四半期純利益**は、89億円、前年同期から40.3%の減少。
これは主に、法人税率引下げに伴う影響95億円があったため。

■ 大同生命の状況

- ・ **経常収益**は、7,343億円、前年同期から1.2%の減少。
- ・ **保険料等収入**は、5,373億円、前年同期から若干の増加。
- ・ **経常利益**は、458億円と前年同期から11.0%の減少。
これは主に、資産運用費用のうち有価証券売却損や有価証券評価損などのキャピタル費用が増加し、一般勘定資産運用収支が減少したため。
- ・ **四半期純利益**は、105億円、前年同期から43.6%の減少。
これは主に、法人税率引下げに伴う影響110億円があったため。

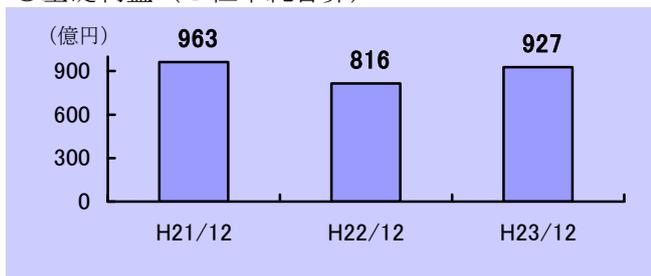
■ T & Dフィナンシャル生命の状況

- ・ **経常収益**は、1,066億円、前年同期から19.4%の増加。
- ・ **保険料等収入**は、367億円、前年同期から37.5%の増加。
- ・ **経常利益(△損失)**は、△82億円、前年同期から87.9%の悪化。
これは主に、相場変動に伴い変額個人年金保険の最低保証責任準備金の繰入額が増加したため。
- ・ **四半期純利益(△損失)**は、△75億円、前年同期から135.7%の悪化。
このうち法人税率引き下げに伴う影響額は16億円。

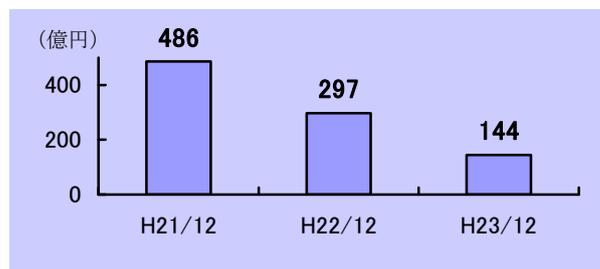
[その他の指標等]

<基礎利益と逆ざや>

○基礎利益（3社単純合算）



○逆ざや額（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比
基礎利益	927	110 増 (13.6%増)	415	48 増 (13.3%増)	671	157 増 (30.7%増)	△159	95 減 (149.1%増)
逆ざや額	144	152 減	68	21 減	54	127 減	21	2 減

■ 3社単純合算

- ・ **基礎利益**は、927億円、前年同期から110億円の増加。これは主に、太陽生命と大同生命で増加したため。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の基礎利益**は、415億円、前年同期から48億円の増加。
逆ざや額は、68億円、前年同期から21億円の改善。これは主に、利息及び配当金等収入の増加などの基礎利益上の運用収支が増加したこと、および予定利息負担が減少したため。
- ・ **大同生命の基礎利益**は、671億円、前年同期から157億円の増加。
逆ざや額は、54億円、前年同期から127億円の改善。これは主に、基礎利益上の運用収支が増加したこと、および予定利息負担が減少したため。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の基礎利益**は、△159億円、前年同期から95億円の悪化。これは主に、相場変動に伴い変額個人年金保険の最低保証責任準備金の繰入額が増加したため。
逆ざや額は、21億円、前年同期から2億円の改善。

<ソルベンシー・マージン比率>

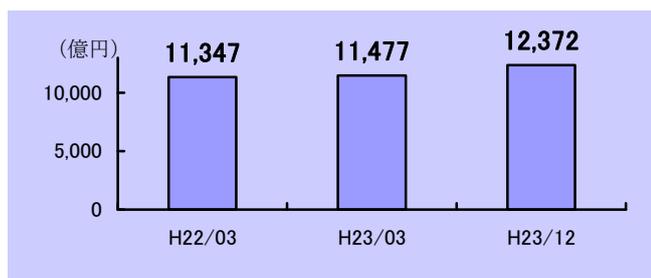
	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末 比較増減	当第3四半期末	前年度末 比較増減	当第3四半期末	前年度末 比較増減
ソルベンシー・マージン比率	1,207.1%	22.6ポイント低下	1,282.2%	45.0ポイント上昇	555.6%	55.6ポイント低下
(参考)新基準による ソルベンシー・マージン比率 ※	691.4%	20.6ポイント上昇	773.5%	52.9ポイント上昇	502.0%	69.1ポイント低下

※平成24年3月期より導入される新基準に基づくソルベンシー・マージン比率

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,207.1%、前年度末から22.6ポイント低下。これは主に、資産運用リスク相当額が増加したことによる。
- ・ **大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,282.2%、前年度末から45.0ポイント上昇。これは主に、リスク削減の推進等により資産運用リスク相当額が減少したため。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、555.6%、前年度末から55.6ポイント低下。これは主に、相場変動によりソルベンシー・マージン総額が減少したため。

<実質純資産（3社単純合算）>



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末 比較増減	当第3四半期末	前年度末 比較増減	当第3四半期末	前年度末 比較増減	当第3四半期末	前年度末 比較増減
実質純資産	12,372	894 増	5,418	882 増	6,040	5 増	912	5 増

(注) E E V 計算上の修正純資産は、グループが 9,577 億円 (前年度末比 963 億円増)、太陽生命が 4,519 億円 (同 777 億円増)、大同生命が 4,443 億円 (同 169 億円増)、T & D フィナンシャル生命が 614 億円 (同 16 億円増) です。

■ 3社単純合計

- ・ **実質純資産**は、1兆2,372億円と、前年度末から894億円の増加。
これは主に、有価証券の差損益の増加による。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の実質純資産**は、5,418億円、前年度末から882億円の増加。
これは主に、有価証券の差損益の増加および価格変動準備金の積み上げによる。
- ・ **大同生命の実質純資産**は、6,040億円、前年度末から5億円の増加。
- ・ **T & D フィナンシャル生命の実質純資産**は、912億円、前年度末から5億円の増加。

<有価証券差損益（一般勘定）>

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末 比較増減	当第3四半期末	前年度末 比較増減	当第3四半期末	前年度末 比較増減	当第3四半期末	前年度末 比較増減
有価証券差損益(一般勘定)	3,134	987 増	2,176	819 増	844	105 増	113	62 増
うち公社債	2,396	1,293 増	1,423	814 増	860	416 増	112	62 増
うち株式	482	737 減	305	573 減	177	163 減	—	—
うち外国証券	364	550 増	384	561 増	△20	11 減	—	—
うちその他の証券	△249	174 減	△5	8 減	△244	165 減	0	0 減
うち金銭の信託	△6	5 減	—	—	△6	5 減	—	—
うち買入金銭債権	147	60 増	68	25 増	79	34 増	—	—
土地等の差損益	198	5 増	21	5 増	176	0 増	—	—

(注) 1. 有価証券差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。
2. 土地等の差損益については、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出しております。

〔平成24年3月期通期業績予想〕

平成24年1月30日に、平成23年5月19日公表の平成24年3月期通期業績予想を以下のとおり修正しております。

○T&Dホールディングス連結

(単位：億円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	19,500	1,130	360
今回発表予想(B)	20,800	1,000	120
増減額(B-A)	1,300	△130	△240
増減率(%)	6.7	△11.5	△66.7

1株当たり年間配当金予想は22円50銭です。(平成23年10月1日付けで当社普通株式1株を2株に分割したことに伴い、配当予想金額は45円から2分の1である22円50銭としています。)

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成24年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	10,900 (2,000増)	9,300 (200増)	1,300 (-)
経常利益(△損失)	590 (20増)	490 (50減)	△90 (-)
当期純利益(△損失)	90 (70減)	110 (90減)	△80 (10減)

(注) 括弧内は、前回発表予想(平成23年11月17日公表)からの増減額です。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以上

(参考) 生命保険会社3社の平成24年3月期通期見通し

平成24年1月30日公表の通期業績予想の修正に伴い、平成24年3月期通期見通しの変更を行っております。

(単位：億円)

	3社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,130 (40増)	550 (-)	710 (40増)	△130 (-)
保険料等収入	16,600 (1,700増)	8,800 (1,600増)	7,200 (100増)	600 (-)
逆ざや額	270 (130増)	80 (40増)	160 (90増)	30 (-)
新契約高	63,600 (2,900減)	29,500 (-)	※ 33,600 (2,900減)	500 (-)
保有契約高	584,000 (200増)	203,100 (-)	※ 361,500 (200増)	19,400 (-)
解約失効率 (%)		6.3 (-)	8.1 (0.8ポイント低下)	3.9 (0.2ポイント上昇)

- (注) 1. 括弧内は平成23年11月17日公表の通期見通しからの増減額です。
 2. 新契約高、保有契約高、および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。
 また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

※大同生命に関して、「無配当重大疾病保障保険（Jタイプ）」の重大疾病保険金額を加算した契約高の金額は、次の見通しです。（「Jタイプ」には普通死亡の保障がないため、上記の契約高には計上していません。）

- ・新契約高：3兆6,400億円
- ・保有契約高：36兆5,100億円

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

以 上